

仁王門

仁王門は家光の霊廟の参道を守護している最初の門です。この2体の戦士は、日本中の寺や神社で、その入り口を守護しています。この猛々しい表情とがっしりとした肉体は、将軍の墓所の守護神にふさわしい、堂々とした容貌だと言えます。

右側の彫像は「密迹」として知られています。まるで日本語のアルファベットの最初の文字である“A”を発音するかのように、口を開けています。「那羅延」として知られている左側の彫像は日本語のアルファベットの最後の文字である“N”を発音するかのように、口をきつく閉じています。この二つの音節と一緒に組み合わせると、一体を意味する仏教の“阿吽”という神聖な音になります。